校長名

熊田 和則

学校の 教育目標 「かがやけ 篠三っ子」かんがえる子 がんぱる子 やさしい子 けんこうな子					
集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能 特別活動の を育成することを目指す。(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見い し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよ 形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図うとする態度を養う。					
	目指す				
特別活動の 一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、望ましい集団を育成しながら個々の児童に育てたし 重点目標 能力を育成する。					成しながら個々の児童に育てたい資質や
		学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
	目標	学級や学校での生活をよりよくするための 課題を見いだし、解決するために話し合 い、合意形成し、役割を分担して協力して 実践したり、学級での話合いを生かして自 己の課題の解決及び将来の生き方を描く ために意思決定して実践したりすることに、 自主的、実践的に取り組むことを通して、第 1の目標に掲げる資質・能力を育成するこ とを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充 実と向上を図るための諸問題の解決に向け て、計画を立て役割を分担し、協力して運営 することに自主的、実践的に取り組むことを 通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育 成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・ 感心を追求する集団活動の計画を立てて 運営することに自主的、実践的に取り組む ことを通して個性の伸長を図りながら、第1 の目標に掲げる資質・能力を育成すること を目指す。	全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校 生活を築くための体験的な活動を通して、集 団への所属感や連帯感を深め、公共の精神 を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力 を育成することを目指す。
	指導の方針	○楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに 尊重しよさを認め合えるような人間関係をはぐぐむ ために、低学年では仲良く加する人間関係、 商学年では信頼し支え合おうとする人間関係、 育成を重視する。 ○自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな 「学級や学校の生活づくり」に参画できるような自 発的、自治的な態度を育成する。 ○学級会や集会活動では振り返りをさせ、自己の 成長に気づき、他者を認める経験を重ねていくこ とで自己肯定感や望ましい集団を育む。	代表委員会、各委員会や児童集会等におけるは こべ学級を含んだ異年齢集団活動を通して、上学級を含んだ異年齢集団活動を通して、 本を打、学年を思いやり、下学年が上学年にあこが れをもち、仲良く、協力し、信頼して自分の 役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに 積極的に取り組んだりすることについて、児童自 身が意識して努力したり。自らが主体的に取り組 んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成す る。また、委員会における児童の活動の様子につ いては各委員会無当と担任で連絡をとり、児童の よい点や進歩の状況を積極的に評価していく。	はこべ学級の児童を含めて学年や学級が異なる 同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうと する人間関係を築くにとができるようにするとさも に、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性 について、多様な他者との人間的な触れ合いの 中で認め合うことができるようにする。また、児童 の活動の様子については各クラブ担当と担任で 連絡をとり、児童のよい点や進歩の状況を積極 的に評価していく。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、 児童が各種の学校行事に積極的に参加できるように したり、役前を担ってその責任を果たすことができる ようにしたり、共に悪びや苦労を分かち合いながら目 標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望 ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容		(1)学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における 多様な集団の生活の向上(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全 ア 希望や目標をもって生きる態度の形成 イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望玉しい人間関係の形成 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解 オ 学校図書館の利用 カル身共に健康で安全な生活態度の形成 キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	学校の全児童をもって組織する児童会において、 学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1)児童会の計画や適営 (代表委員会、各種委員会) (2)異年齢集団による交流 (ハッピーフレンズ) (3)学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会)	学年や学級の所属を離れ、第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢 集団活動やはこべ学級との交流を深め、共通の 興味、関心を追求する活動を行う。 (1) クラブの計画や運営 (2) クラフを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	○儀式的行事:学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなる活動を行う。 ○文化的行事:平楽の学習の成果全祭表しその向上の意欲を一層高めたり文化や芸術に親しんだりする活動を行う。 ○健康安全、休育的行事:心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の休得、運動に親しむ態度の育成、責任医や連帯感の涵養、休力の向上などに資する活動を行う。 ○遠足・集団宿泊的行事:自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係など集団生活のセリ方や公衆遺徒などについての望ましい体験を積むことができる活動を行う。 ○勤労生産・奉仕的行事・勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動を行う。
他の教育活動との関連	各教科・読書科	〇各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解、表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、校内研究アーマ「聞く話す」や国語科の学習内容との関連を図の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科や校内研「聞く話す」に関する学習で身に つけたで身に付けた能力などを、児童会活動にお ける楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく 活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた 自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な 学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	機式的行事では、礼機正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
	別の教科	振学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と中よくし助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは 自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生 活をすることを、上学年では、だれに対しても思い やりの心をもち、相手の立場に立って親切にする こと、身近な裏団に進んで参加し、自分の役割を 自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視 する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強ぐかり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、遠んで新いいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりのをもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	係式的行事では、礼儀正にく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい枚風をつくること、郷土や国を愛する心をつことを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
		外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動で身に付けた国語や我が国の文 化に対する理解を深め、世界の人々と相互の 立場を尊重、協調しながら交流しようとする態 度を諸行事に生かす。
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する 実践活動や話合い活動、集会活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決の ブロセスや友達同士の学び合いなどを、学 校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運 営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決の ブロセスにおける創意工夫を、クラブ活動 における多様な展開に生かせるようにす る。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりを考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養力体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携		楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に 展開するために、個々の家庭の状況に配 慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。飼育園芸委員会では地域の篠田堀に花を植える等の取り組みを継続的にしている。また、代表委員会のユニセフ募金の取り組みでも家庭の協力を得ている。	クラブ活動における楽しく豊かな学校生活 づくいの活動を効果的に展開するために、 家庭や地域の協力を得たり、社会教育施 設等を活用したりする。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。